

うきは

市議会だより

1期目議員が**9**名！
 新たなうきは
 女性議員**3**名に！
 市議会が始動！

みんなで頑張ります。
 よろしく願いしちよます！



年齢別構成

- ★40代2名
- ★50代3名
- ★60代5名
- ★70代4名

任期別構成

- ★1期9名
- ★2期1名
- ★3期3名
- ★4期1名

CONTENTS

- 5月臨時会 & 6月定例会 P2~P3
- 議長挨拶 & 議会構成 P10~P11
- 一般質問 P4~P9
- 市民の声 P12



令和8年6月末現在 (人口) 26,688人 (世帯数) 11,589世帯

5月議会報告 (5月1日開催)

▶▶ 選挙4件、決定2件、議案9件

市議会議員選挙後の臨時会は5月1日に開催され、すべて全会一致で承認・同意されました。

議案番号	件名 / 内容	選挙・選任・審議結果
選挙第1号	議長選挙	当選：熊懷和明
選挙第2号	副議長選挙	当選：竹永茂美
決定第1号	議席の指定	当選回数・年齢順
決定第2号	常任委員会委員及び議会運営委員会の選任	11ページ参照
選挙第3号	久留米広域消防組合議会議員の選挙	当選：野鶴 修
選挙第4号	福岡県介護保険広域連合議会議員の選挙	当選：竹永茂美
議案第33号	専決処分 令和7年度うきは市一般会計補正予算第9号	承認
議案第34号	専決処分 令和7年度うきは市立自動車学校特別会計補正予算第3号	承認
議案第35号	専決処分 うきは市税条例の一部改正	承認
議案第36号	専決処分 うきは市国民健康保険税条例の一部改正	承認
議案第37号	専決処分 固定資産評価員の選任：佐藤史津子	承認
議案第38号	教育委員会教育長の任命：松田清孝	同意
議案第39号	教育委員会委員の任命：處愛美	同意
議案第40号	固定資産評価審査委員会委員の選任4名	同意
議案第41号	監査委員（議員選出）の選任：末金良幸	同意

6月議会報告 (6月12日～25日)

▶▶ 報告6件、議案10件（全会一致で可決）

▶▶ 陳情1件（趣旨採択）

一般会計補正予算（議案第42号）で多くの意見が出された。

- ① 老人福祉費750万円（物価高騰対策高齢者等エアコン設置費補助金：15万円×50世帯）について、地元業者を優先すべきではないか。
- ② 環境衛生費300万円（井戸掘り替え工事に対する補助金：工事費1/2以内上限30万円）で予算を使いきった場合、新規受付はしないのか。

.....



執行部からは、市民へ広報・周知するとの回答を得ました。
各委員長報告は「うきは市議会」YouTube をご覧ください。





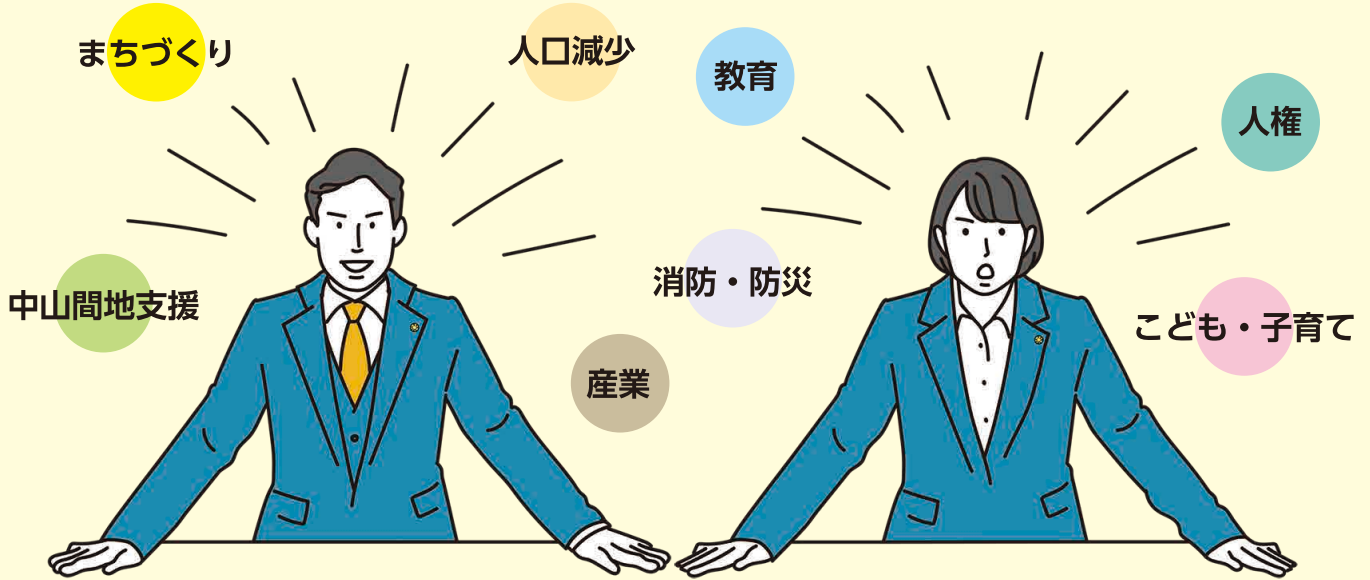
審議結果



議案等番号	件名／主な内容（千円単位切捨て）	審議結果
報告第1号	一般会計繰越明許費繰越計算書：39件10億4,968万円	—
報告第2号	国民健康保険事業特別会計繰越明許費繰越計算書76万円	—
報告第3号	後期高齢者医療事業特別会計繰越明許費繰越計算書82万円	—
報告第4号	下水道事業会計予算繰越計算書：建設改良費4,377万円	—
報告第5号	うきは市土地開発公社の経営状況	—
報告第6号	専決処分の報告	—
議案第42号	令和8年度うきは市一般会計補正予算（第1号） ○一般管理費520万円（地域おこし協力隊員） ○庁舎管理費（営繕工事費6,083万円＋設計監理委託料750万円：雨漏り） ○地域活性化推進費310万円（地域公共交通従事者確保支援事業補助金等） ○老人福祉費750万円（物価高騰対策高齢者等エアコン設置費補助金15万円×50世帯） ○介護保険対策費（高齢者施設等物価高騰対策支援金320万円：県支援対象外20事業所） ○環境衛生費300万円（井戸掘り替え工事に対する補助金：工事費1/2以内上限30万円） ○園芸費2,762万円（暑さに負けない園芸対策強化事業費補助金1,762万円、農業用ハウス被覆資材高騰対策事業費補助金1,000万円） ○災害対策費150万円（止水板設置費補助金1/2以内上限30万円） ※太字は物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金	可決
議案第43号	令和8年度うきは市下水道事業会計補正予算（第1号）（LED 化工事）	可決
議案第44号	令和8年度うきは市簡易水道事業会計補正予算（第1号）	可決
議案第45号	財産の取得（中学校にタブレット814台更新）	可決
議案第46号	辺地に係る総合整備計画の変更	可決
議案第47号	うきは市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第48号	うきは市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第49号	うきは市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第50号	うきは市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第51号	うきは市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定（西隈上団地の地番変更）	可決
陳情第1号	市民と議会をつなぐ議会情報の公開・発信の充実拡大を要請する陳情 陳情者 中島健一 ①本会議等の議案・予算書等購入可能の広報 ②各常任委員会の議事録（詳細記録）の速やかな公開（HP含む） ③全員協議会開催日等の事前通知と議事録（詳細記録）の速やかな公開（HP含む） ④意見交換会で出された意見、議会側の意見等のHP掲載と意見交換会の一般市民への公開 ⑤請願書・陳情書のコピーを傍聴受付机に備えること 議会運営委員会で陳情者の説明後、審議した結果、執行部との調整や全員協議会での協議が必要である。	趣旨採択

11人による一般質問っ！

改選後初の6月議会では…



一般質問とは、各議員それぞれの視点で『わがまちの困りごと』を明らかにしたり、『この政策に取り組むとこうなるのでは?』という政策提案がされる機会なのです！



たかぎ あきこ
高木 亜希子
議員

防災行政戸別無線について
緩やかに縮小する段階
ではないか



現時点では考えていない。
今後の在り方は、引き続き研究していく

市長

高木

LINE配信や防災アプリなどが充実する中、防災行政無線の戸別受信機については緩やかに縮小していく段階では。

市長

現段階では廃止・縮小は考えていないが、不要という意見も踏まえ、今後の在り方については研究をしていく。

高木

LINE活用を進めてもらいたい。共通ツールとして考える時期だ。即時性が高く、双方向で連絡できて災害時有益だ。市民協働推進課が旗振り役となしてほしい。

また、民生委員は防災計画の中で様々な役割がある。先進自治体における民生委員のスマホ・タブレット活用の取組を調査し、本市での活用の可能性を模索してほしい。

市長

LINEについては行政防災無線の有効性とその他ツールの活用の中で研究をしていく。



▲今後の災害時の連絡ツールって？

その他の質問

- ▼新教育長の基本的な考え
- ▼浮羽研究真館高校補助事業



とくなが まりこ
徳永 真理子
議員

「出生届」のオンライン化
について



国の計画に基づき、「総務課デジタル推進室」を中心として取組を進めていく

市長

徳永

令和5年の、直方市へDX

についての職員研修はどのような研修だったのか。

市長

電子決裁やそれに伴う事務手続の見直しについての研修を行った。

徳永

出生届のオンライン化で「乳児健診」や「予防接種」の問診票のデジタル化にもつながるが。

市長

医療機関との連携が必要となってくるため、他市町村の事例を参考にしていく。

徳永

うきはDX計画とはどのような計画か。

総務課長

障がい者や高齢者など、市民目線の優しいデジタル整備を計画している。

【義務教育学校について】

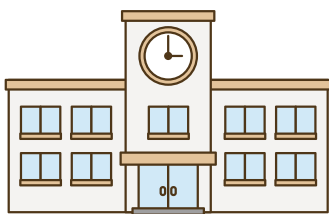
徳永

義務教育学校の立ち上げ組織は、地域性をよくご存じの方々にお願いしたい。

教育長

準備委員会を設置し、実務に携わっている方々にご参加いただきたい。

▼新たな学校づくりは市民みんなで



▲母体の負担を減らしたい



のづる おさむ
野鶴 修
議員

中山間地域の活性化・農村を
守る対策について



現状や課題の把握を行うため、地元を含めた新たな協議体の設置を検討していく

市長

野鶴

地元を含めた新たな協議体制を設置し、確立しようとするならば、指導者など、引つ張っていくリーダー的存在の人員の配置が必要ではないか。

市長

リーダーよりコーディネーター的な役割を果たす人材が肝要だと思っている。地域おこし協力隊や集落支援員、地域活性化企業人など様々な制度があるので、こうした制度を用いて国の補助も受けながら、そのような人員を配置できれば。

野鶴

前年度において基金がなくなった。中山間地域を活性化させていくためには、再度山村地域振興基金を積み立てて、市も本気で「地元」にやる気があれば手助けする」という姿勢を見せてほしい。

市長

地域独自の取組を「提案いただき、市が交付金を出す」ことに



▲誰が守っていくのか？中山間地の棚田

いては、この議会場で議論いただいたうえで抛出するのが、民主的な議会制度のあるべき姿だと思っている。議会にはかりながら前向きに予算面も支援していきたい。

その他の質問

▼うきは市の新たな新規農作物導入検討について



いいだ まさひろ
飯田 雅弘
議員

浮羽真館高校東側水路の
水害対策は



鷹取工業団地整備に合わせた千代久谷川の
河川改修の検討を進める

市長

飯田 千代久谷川の河川改修は、
いつ頃行われるのか。

市長 時期は未定で現在検討中
である。

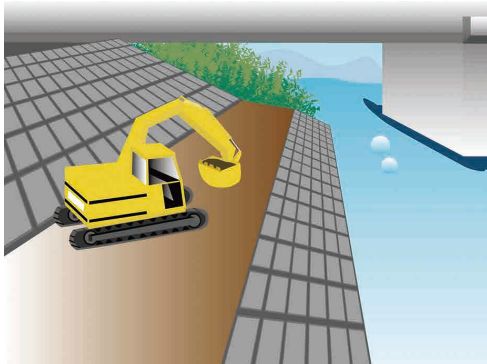
【おむつ定期便について】

飯田 子育て見守りおむつの定期
便を1歳までとしている理由は。

市長 育児負担や孤立感が大き
く、継続的な見守りが重要な時期
だからである。

飯田 2歳を過ぎても、おむつを
使用しているケースも多い。対象
年齢の延長は。

市長 乳児期の見守り支援が目
的のため、対象年齢の延長は考え
ていない。



▲千代久谷川の河川改修時期は？

【のーとうきはについて】

飯田 のーとうきはの定時路
線化の検討は。

市長 利用実績や利便性を踏ま
え、定時路線化は考えていない。

飯田 スマートフォン操作、利用
に不慣れな方への対応は。

市長 市職員が出向き、乗り方教
室などを実施している。



いまむら きよし
今村 清
議員

人口減少社会に対応した
まちづくり、立地適正化計画
に対する所見は



都市計画マスタープラン策定中。
その中で立地適正化計画等も示したい

市長

今村 定住人口を増やすための施
策、空き家の活用状況は。

市長 空き家バンクの登録は79件
で、売買・賃貸を合わせて64件成約。

今村 令和5年3月調査で確認
された空き家は742件で、登録
は79件だが。

市長 今後も丁寧な対応を心掛
け、登録件数を増やしていきたい。
特定危険空き家や管理不完全空き
家については、建設課の空き家対
策係で取り組む。

今村 人口の減少率の格差が顕
著となっている。平成17年の合併
時より、姫治地区では、森林や農
地の荒廃・有害鳥獣の増加・廃棄
物の不法投棄等が懸念されるが、
山間部の適正な維持管理を行う
には。

市長 様々な課題に対し、新たな
協議体の設置や地域おこし協力隊

町域	平成17年 (2005年)	平成27年 (2015年)	令和8年 (2026年)	合併時との比較	
				人数	減少率
吉井町計	17,525	16,604	14,782	2,743	84.35%
浮羽町計	16,576	14,641	11,928	4,648	71.96%
妹川	650	496	342	308	52.62%
新川	461	314	173	288	37.53%
田箒	224	157	86	138	38.39%
小塩	861	686	485	376	56.33%
うきは市計	34,101	31,245	26,710	7,391	78.33%

▲うきは市、各町域の人口推移 ※20年で約2割減少

の任用や集落支援員の活用等につ
いて検討する。
その他の質問
▼コンパクトシティ政策
▼中学校部活動の地域展開
▼児童生徒の安全確保



すやま さとみ
須山 聡美
議員

女子が安心してできる学校生活
のために小中学校トイレに
生理用品の配備を



こどもたちが安心して生理用品を使える環境
について作り上げていきたい

市長

須山

現在、学校トイレに生理用品が配備されていない。貧困対策、人権課題として検討が必要では。

市長

貧困対策、人権課題としては同様の認識を持っている。現在は保健室に配備し、必要な場合は速やかに提供できる体制を整えている。

教育長

こどもたちとの会話づくりで生理に関する具体的指導を行うことが重要と考えている。

須山

生理用品の配備をする学校へ一般企業が無償で提供する蓋もついている専用BOXの活用は。

市長

蓋つきの容器については研究していく。こどもたちが安心して生理用品等を使える環境について、しっかり作り上げていきたい。



▲いつでも気軽に使える
安心感をこどもたちに！

須山

トイレ配備と比較した際のメリットとデメリットは。

教育長

トイレ配備は気軽に生理用品を手でできるメリットがある。デメリットは生徒への指導機会が失われ、物品管理や衛生面に懸念がある。

須山

授業と授業の間5分ではゆつくりトイレへ行けない。トイレへの配備へ一歩前進をお願いしたい。

学校教育課長

十分理解できる。学校側の意向を十分尊重しながら検討する。



いしい たかゆき
石井 孝幸
議員

かわせみホール、各資料館、
各スポーツ施設の
今後の在り方について



現行の公共施設等総合管理計画が9年経過
しているため再検討する

市長

石井

かわせみホールとその敷地、また、浮羽歴史民俗資料館・吉井歴史民俗資料館・金子文夫資料展示館等の統廃合をどうするのか。

市長

各施設については、現行の計画を具体的に再検討していく。

石井

かわせみホールの維持管理費は年間いくらなのか。

生涯学習課長

年額で約1800万円掛かっている。

石井

かわせみホールは、制限があり、あまり利用されておらず、維持管理費がもつたない。かわせみホール及び各資料館とも早急に統廃合を進めてほしい。

石井

各スポーツ施設の今後の在り方は。

市長

老朽化が進んでおり、利用状況を把握しながら今後の在り方を検討していく。ご要望に対して



▲市民から洋式トイレへの
要望が出ている

その他の質問

▼ルリー口福岡のガーデンパーク構想実現に向けた市の関与について

石井 各スポーツ施設のトイレでは、洋式トイレが少ない。また照明は、電気代が高い水銀灯を使用している。雨漏りしている施設もあるので、早急に更新をしてほしい。



なかしま たかひで
中嶋 崇秀
議員

うきは市におけるヤング
ケアラー等こどもの
権利擁護の取組は



こどもと家庭に寄り添った包括的な支援体制の
充実に努める

市長

中嶋 これまでヤングケアラー

問題にどう取り組み、課題解決に
つなげてきたのか。

市長 令和6年に実態調査を行

い、手引書の配付・相談窓口の周
知を行った。今後も関係機関との
連携を強化し早期発見・早期支援
に努める。

教育長 ヤングケアラー等、無自

覚のまま家庭のことを頑張ってい
るこどもがいないか、しっかり把
握して対応している。

中嶋 エースサバイバー（逆境的

小児期体験）対象児童生徒の把握
や、家庭へのアプローチはどのよ
うに取り組んでいるのか。

市長 こども家庭センターを中

心に様々な機関からの情報提供を
通じ、早期把握に努めている。今
後も包括的な支援体制の充実に努
める。

中嶋 こどもの課題に係る専門

職として、子どもアドボケイト
（こどもの声を聴き支援する人）
の配置が必要と思うが、現在の配
置状況はどうか。

市長 現在のところ配置は行っ

ていないが、こどもの気持ちや意
見が尊重される市となるよう取組
を進めていく。

その他の質問

▼ふるさと大使の周知について

▼介護保険における介護職員の
確保及び訪問介護事業の現状把
握について



▲こどもの人権を守る！



きちぜんたろう
吉瀬 晋太郎
議員

誰一人取り残さぬ教育へ
不登校の実態把握と
学びの場を



適切な場所の提供に今後特に力を入れ、
自宅で学ぶ児童生徒への支援を研究する

教育長

吉瀬 令和6年度の不登校児童

生徒は86名。支援機関の利用状
況と対応はどうか。

教育長 適応指導教室「キノー

ト」を5名、社会福祉協議会の
フリースペースを7名利用して
いる。

吉瀬 利用していない児童生徒は

どのように過ごしているのか。

学校教育課長 一概には言えな
いが、家庭で過ごしているケー
スが多い。

吉瀬 家から出られない児童生

徒に届く民間オンライン型学習な
ど、官民連携の導入を検討できな
いか。福山市では自己肯定感が上
がり復学した児童生徒もいる。

学校教育課長 多様な学びの場

が重要であり、ICTを活用した自
宅での学習も研究していきたい。
まず児童生徒の実態を把

【中学生の不登校数】

32 → 70 3年で2倍超に
令和4年度 令和6年度 急増

【自己有用感(中3)】

「自分にはよいところがあると思う」

うきは市 29.0% 全国 40.7%
全国を11.7ポイント下回る

▲3年で2倍超に急増した中学生の不登校
と、全国を下回る自己有用感

出典：うきは市教育振興基本計画(令和8年4月)
令和7年度全国学力・学習状況調査

▼ふるさと納税の更なる拡充と
財源確保策について

その他の質問



すえかね よしゆき
末金 良幸
議員

新規就農者の現状把握と
農業後継者への支援について



97名が就農支援事業を活用。
過去5年間では全員が市内で農業に従事

市長

末金 新規就農者と併せ親元就農者をいかに根付かせるか。

市長 国の新規就農者育成総合対策事業に加え、市の独自支援として農業資材や機械設備導入の一部助成をしている。相談については、農林振興課、農業委員会そしてJAの協力が肝要である。

末金 うきはのブランド力維持について考えは。

市長 これまで培ってきた「うきはブランド」は、合併して大きくなったJA福岡久留米の組織力を活かし、グローバルに展開できるのではないかと考える。

【自主防災組織について】

末金 自主防災組織における防災意識の向上について。

市長 自主防災組織代表者対象に毎年講習会を実施している。

末金 防災組織のリーダーだけで



▲RTK (自動運転) 搭載の田植え機で作業中

なく、住民の方々も含めた防災意識共有については。

市長 行政区単位でのフィールドワークやD・I・G訓練(災害図上訓練)を行うことで情報の共有ができる。

末金 自治協議会と地域計画の見直しについて考えは。

市長 各自治協議会を中心に見直しを行っていただく。市も情報共有や策定業務など積極的な支援を行う。



さとう ひろのぶ
佐藤 裕宣
議員

保育環境の整備を



保育料の無償化という形が好ましいとは思っている

市長

佐藤 課題はあると思うが、「子どもまんなか」を掲げるのであれば、保育料の無償化、あるいは値下げなど、思い切った施策に踏み切らなければ、子育て世代から選ばれる自治体にならないのでは。

市長 本市は公立保育所が主体でありその必要性も理解しているが、国の施策が官から民への移行を前提とした補助体制になっている。総合的に判断し、どのタイミングで完全無償化に踏み切れるだけの財源が確保できるかということも考えなければならない。

佐藤 正規職員としての保育士採用は直近で何年度か。

こどもみらい課長 平成21年度の3名が最後でその後行っていない。

佐藤 こどもを安心して預けられる保育環境の整備に向けて保育

士の確保育成にも力を入れていきたい。

【消防団見舞金について】

佐藤 消防団が地域のために果たしている役割や活動内容について市民の理解促進を図るため、広報誌やHP、SNSなどを活用した情報発信に積極的に取り組む考えは。

市長 担当課や消防団と話をし、情報発信を行っていきたい。



▲浮羽保育所



議長 熊懐 和明

このたび、議長に選出されました熊懐和明です。就任にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。現在、私たちは日々の暮らしの中で、長引く物価高騰という大きな課題に直面しています。市民の皆様が不安なく、安心して毎日を過ごせるよう、生活を守る対策をスピード感をもって進めていくことが、何よりも重要であると感じています。

今回の市議会選挙では、大変喜ばしくも多くの若い議員が誕生しました。若い世代の新しい視点やアイデアを積極的に取り入れ、ベテラン議員と若手議員が互いに切磋琢磨しながら、真に市民の皆様のためになる議会をつくってまいります。何でも気軽に話し合える風通しの良い議会運営に努めてまいりますので、市民の皆様のご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。

今回、副議長に選出されました竹永茂美です。一言ご挨拶申し上げます。選挙ではお互いがライバルでしたが、選挙後は皆が仲間です。一期生が9人と若返り、女性も3人選出されましたので、多様で活発な議会となりました。

議員全員が仲間として一緒に、市民のために議会活動・運営に努めてまいります。市民の皆様さ方のご指導、ご協力をお願いして副議長就任の挨拶に代えさせていただきます。



副議長 竹永 茂美

chairperson



議会運営委員長挨拶

今村 清

今期、議会運営委員会の委員長を務めさせていただくことになりました今村です。自由闊達な議論と円滑な議会運営を目指して、微力ながら職責を全うできるよう、尽力させていただきます。



総務産業委員長挨拶

石井 信一

国内外では様々な問題が毎年のように発生し、各産業においても人材不足や生産費の高騰で先行きが見通せない状況です。影響を最小限に抑え、市民が安心して暮らし、各産業が将来に渡り持続できるよう取り組みます。



厚生文教委員長挨拶

高木 亜希子

健やかな未来を育むため、今期の大きなテーマである浮羽町域学校再編や重層的支援体制の更なる充実に向け、市民の皆様と共に丁寧に取り組んでまいります。温かなご理解とご協力を、心よりお願い申し上げます。

議会運営委員会

議会をスムーズに運営するための協議を行う。議会の日程や進行について等を協議する。また、会議規則等についても扱う。

.....

令和7年度は15回開催。(含)視察

総務産業常任委員会

総務・財政・企画政策・税務・会計・農林・商工観光・農業委員会・建設・都市整備・市民協働推進・水環境等を担当。

.....

令和7年度は12回開催。(含)視察

厚生文教常任委員会

市民生活・人権同和对策・男女共同参画・保健・福祉・こども・子育て・教育委員会・自動車学校等を担当。

.....

令和7年度は12回開催。(含)視察

New! 新体制スタート! 所属委員会の紹介

(※6月定例会時点のものです)

議席 番号	議 員	総務 産業	厚生 文教	議会 運営	広報	その他
1	(1)  吉瀬 晋太郎		●	●		
2	(1)  飯田 雅弘		●		●	
3	(1)  徳永 真理子	●			●	義務教育学校新設準備委員会
4	(1)  須山 聡美	●			●	
5	(1)  今村 清	●		委		
6	(1)  石井 孝幸	副		●	●	
7	(1)  中畠 崇秀		副	●		うきは久留米環境施設組合、こども子育て会議

議席 番号	議 員	総務 産業	厚生 文教	議会 運営	広報	その他
8	(1)  石井 信一	委		●		土地開発公社、人権・同和対策審議会
9	(1)  末金 良幸		●			監査委員
10	(2)  高木 亜希子		委	副	副	土地開発公社、人権・同和対策審議会、うきは久留米環境施設組合、地域公共交通活性化協議会、義務教育学校新設準備委員会
11	(3)  佐藤 裕宣		●			
12	(3)  野鶴 修	●				久留米広域消防組合
13	(3)  竹永 茂美		●		委	副議長 人権・同和対策審議会、県介護保険広域連合、うきは久留米環境施設組合、土地開発公社
14	(4)  熊懐 和明	●				議長 防災会議、人権・同和対策審議会、県介護保険広域連合、久留米広域消防組合、うきは久留米環境施設組合、土地開発公社

※()内は期数 ※(委)=委員長 (副)=副委員長

ちなみに 議会や委員会ってどんな活動してるの？

令和7年の会議開催日数(令和7年1月1日～令和7年12月31日)

本会議	3月定例会	5月臨時会	6月定例会	9月定例会	12月定例会	計
	22	1	15	25	14	77

- 全員協議会 19回
- 広報広聴委員会 16回

この他に、各種特別委員会などの活動や視察・意見交換会など幅広い活動をしています。



Voice 市民の声



浮羽町在住 吉田 昂平 さん(22歳)

うきは市議会議員選挙所感

今回のうきは市議会選挙は、現職6名、新人10名が14席の市議会議員を目指す戦いとなりました。この中には、若い候補者も多く、有権者には新鮮な選挙に映っていたと思います。

新しい風がうきは市議会へ訪れることを期待して、計12,333人の有権者(投票率前回53.60%、今回55.29%と1.69ポイント増)が投票されました。その結果、5名の現職と9名の新人が当選し、さらに上位6名は新人で、合わせると投票数6,694票(54.3%)を得ました。

多くの新人が当選したことは、有権者の意見がしっかり反映された結果と言えると思います。

物価高や少子化、高齢化、過疎化の風を受ける、うきは市の昨今にとって、まずは子どもから若者がうきは市を離れてしまう現状を解決する必要があると思います。何故ならば、うきは市のこどもたちは、うきは市の未来を担っていく存在だからです。

議会を傍聴しませんか。

- ▶ 9月の議会定例会は
8月28日(金)開催予定です。
- ▶ 一般質問は
8月31日(月)・9月1日(火)の予定です。
- ▶ 9月議会への請願書・陳情書は、8月18日
(火)正午(予定)までに提出して下さい。



YouTubeのライブ配信や
録画配信でもご覧いただけます。



全国市議会議長会より、 2名のうきは市議会議員が 永年勤続表彰を受けました!



正副議長表彰

(4年以上)

江藤 芳光 元議長



議員表彰

(20年以上)

伊藤 善康 元議員

編集後記



中東情勢やウクライナ侵略などで、ナフサをはじめとする石油製品が不足し、うきは市の農業、商業、工業、市民生活にも大きな影響を与えています。一日も早く戦争が終わることを願っています。

さて、5月臨時議会と6月定例議会だよりを作成しました。この、議会だよりを読んでいたかとわかりますように、一般質問を多くの新人議員が行い、うきは市議会に新しい風を吹き込みました。

また、この議会だよりも編集委員6人中4人を新人議員が担い、新しい感覚で、市民に読んでもらう紙面づくりに取り組みました。どうぞ、隅々まで読んでいただきたいと思います。これから、4年間よろしくお願ひします。

(竹永 茂美)



発行責任者 議長 熊懷 和明

広報広聴委員会

委員長 竹永 茂美
副委員長 高木 亜希子
委員 石井 孝幸
須山 聡美
徳永 真理子
飯田 雅弘

議会事務局

TEL.75-4990

FAX.75-3342